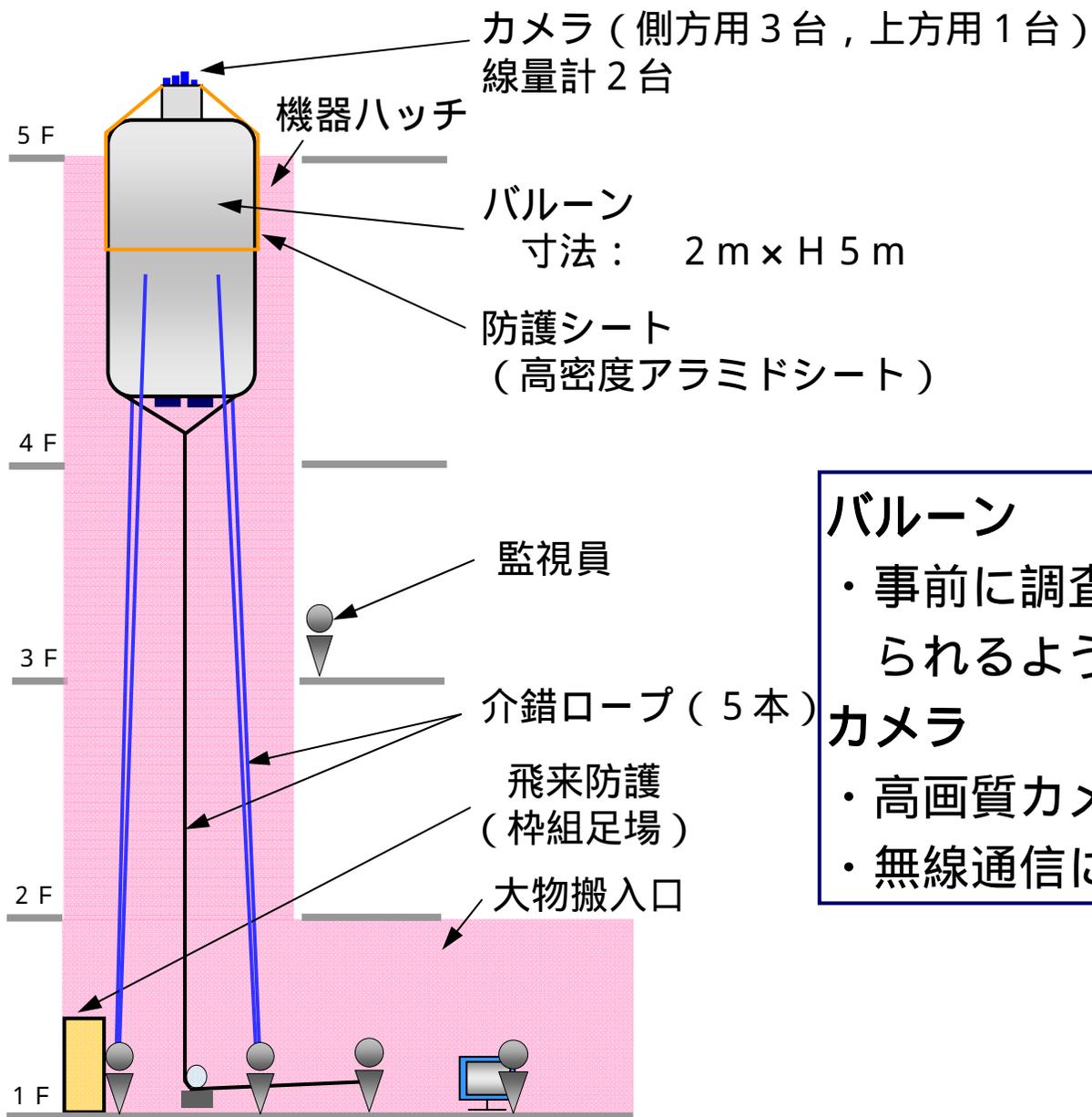


福島第一原子力発電所 1号機 オペレーティングフロアの状況再調査結果について

【調査概要】

- 目的** 1号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の状況を把握し、今後の使用済燃料プールからの燃料取り出し等の検討に資することを目的とする。
- 実施内容** カメラを取り付けたバルーンを用いて、以下の調査を実施した。
- オペフロ上の屋根ガレキ、天井クレーン、燃料取替機等の状況調査
 - 大物搬入口から機器ハッチ、使用済燃料プールまでのアクセス性確認
 - オペフロ機器ハッチ開口部の線量測定
- 4台あるカメラの内、上方向を撮影するカメラの画像は、取得することができなかった。
- バルーンによる調査が成功した為、飛翔体による調査は実施しなかった。
- 現場体制** 当社社員：4人
協力企業：25人
- 作業時間** 10月24日（水） 11：07～12：48
- 最大被ばく線量** 3.81 mSv（計画線量 5 mSv）

【調査イメージ】



バルーン

- ・ 事前に調査、確認した障害物を避けられるようサイズ、形状を変更

カメラ

- ・ 高画質カメラを搭載
- ・ 無線通信にて、拡大 / 縮小操作可能

【調査状況（バルーン外観）】



バルーン外観（横倒し状態）



バルーン機器ハッチ内浮遊状況
（真上を見上げた画像）



バルーン外観（立起き状態）

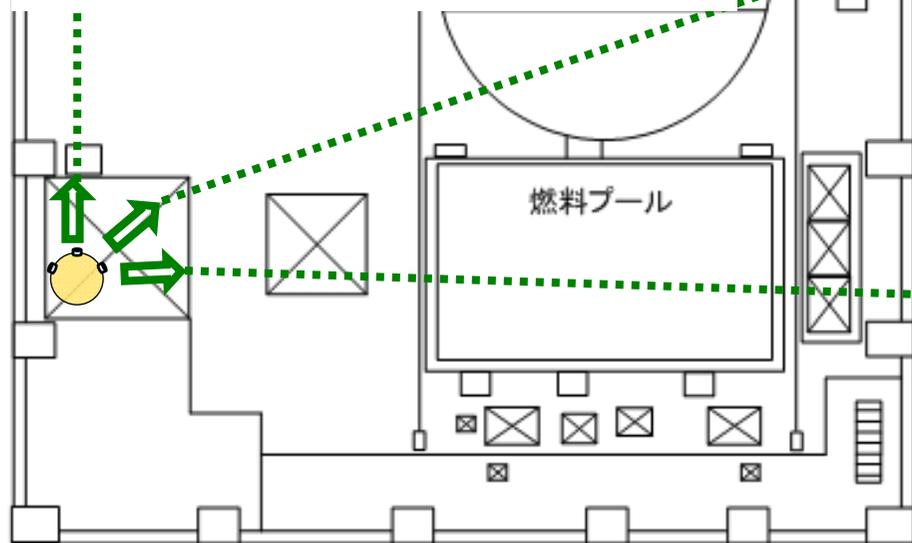
【調査結果（原子炉建屋5階フロア状況）】



バルーンからみた北方向の写真



バルーンからみた北東方向の写真



1号機原子炉建屋 5階



バルーンからみた東方向の写真

【調査結果（原子炉建屋5階フロア状況）】



使用済み燃料プール水面



天井クレーンの一部

【調査結果（各フロアの線量率）】

バルーン最高到達点線量
OP42400
(オペフロ床面から3.5mの地点)

37.1mSv/h

オペレーティングフロア線量
(オペフロ床面から1mの地点)

最高53.6mSv/h

原子炉建屋4階線量

最高20.1mSv/h

原子炉建屋3階線量

最高33.6mSv/h

原子炉建屋2階線量

最高150.5mSv/h

